

総務文教常任委員会

平成28年度一般会計予算 総務費 27億3,320万円 (クニマス未来館建設に3億8,500万円)

平成28年度一般会計予算の内、総務委員会では、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費などの主要予算が審査されました。クニマス未来館建設や、ふるさと納税による寄付金増加に伴う返礼品や積立などにより、総務費は前年対比32.9%と大幅にアップしています。

■平成28年度一般会計予算(総務文教常任委員会で審査されたもの)

項目	28年度予算額	27年度予算額	比較	伸び率	備考
議会費	1億6,734万円	1億9,147万円	△2,413万円	△12.6%	議会運営に関する予算
総務費	27億3,320万円	20億5,691万円	6億7,629万円	32.9%	行政運営全般や企画政策等
消防費	8億4,192万円	7億5,362万円	8,830万円	11.7%	大曲仙北広域消防や消防団に関わる予算
教育費	14億1,120万円	17億3,916万円	△3億2,796万円	△18.9%	小中学校や幼稚園、公民館、文化財保護等の予算
公債費	23億2,781万円	25億4,809万円	△2億2,027万円	△8.6%	借金の返済

■平成28年度予算 主な内容

あきた未来づくり協働プログラム事業費 3億8,579万円

クニマス未来館の建設や田沢湖の湖底調査を行う。

総合行政情報システム管理費 1億4,229万円

市役所システムやセキュリティシステムの管理運営費。

次世代定住支援事業費補助金 300万円

若者の住宅建築に対する助成制度を28年度から実施。

ふるさと振興基金積立金 1億3,283万円

ふるさと融資に充てるための基金へ積立。

ふるさと仙北応援基金積立金 1億1万円

ふるさと納税による寄付金を基金へ積立。

大曲仙北広域市町村圏組合消防費負担金 6億832万円

大曲仙北広域消防の運営費を一部負担。

減対策に取組まなければその達成は厳しいと考えている。

全市が一つとなって定住・人口様からも情報を提供して頂き、かなければならない。市民の皆とりまとめ、市として進めて行課からのあらゆる情報と施策を横断的に進めるべきではないか？

質問 次世代定住支援事業による人口減少対策は、若者の定住を図るための政策であり、各課

質問 田沢湖再生議員連盟からも同様の意見を頂いており重く受け止めている。

質問 次世代定住支援事業による人口減少対策は、若者の定住を図るための政策であり、各課横断的に進めるべきではないか？

答弁 定住対策については、各課からのあらゆる情報と施策をとりまとめ、市として進めて行かなければならない。市民の皆様からも情報を提供して頂き、全市が一つとなって定住・人口様からも情報を提供して頂き、減対策に取組まなければその達成は厳しいと考えている。

質問 クニマスが減んだのは国家事業によるものである。国や県の支援も求めるべきではないか？

答弁 田沢湖再生議員連盟からも同様の意見を頂いており重く受け止めている。

質問 クニマス未来館運営の収支見直しは？

答弁 クニマス未来館の運営については、入場者数の増加策や支援企業の確保、ふるさと納税の活用等により赤字幅を縮小し黒字化に向けて努力を重ね、軌道に乗れば原則的に地域の方々に指定管理をお願いすることになる。

平成28年度予算 主な質疑
議論のポイント
ここが知りたい

■平成27年度一般会計補正予算 主な内容

地域総合整備資金貸付金 1億4,500万円

角館町横町に計画されている町家プロジェクトに対する「ふるさと融資」。

小中学校施設天井落下防止対策事業費 3,444万円

市内小中学校体育館の天井補強工事。

質問 小中学校施設天井等落下防止対策工事中、子供達の授業に支障はなかったか。また、子供達の安全は確保されていたか。

答弁 各学校により多少の違いはあるが、工事は2~3ヶ月の期間を要した。工事期間中の体育授業は、学校の配慮により屋外で行う授業にカリキュラムを組み替えてもらった。現場には警備員を配置し子供達への安全に配慮した。

条例案等の審査

新市建設計画の変更について

質問 新市建設計画変更と合併特例債との関係については？

答弁 庁舎建設だけでなく、広域関係の事業にも特例債を充てられることから、特例債を借りる選択肢を広げるため、広域関係事業にも変更を加えたものである。特例債の返済についての財政シミュレーションは、建設計画に掲げる事業について計算されている。

仙北市基金条例の一部を改正する条例の制定について (育英会奨学金を寄附により増額するための条例改正)

質問 仙北市育英会の奨学金返済免除制度が新しくできるのか。

答弁 育英奨学金の制度の変更について、平成28年度中に条例改正を考えている。内容は、返済期限に達した方が、仙北市に在住している期間は、返済額相当の金額を補助するというものである。就職して、仙北市に戻ってきた時点で全額免除になるものではない。

市民福祉常任委員会

平成28年度一般会計予算

民生費・衛生費 72億5,214万円 清掃費は前年度比29%ダウン

平成28年度の一般会計予算の内、民生費、衛生費が審査されました。昨年の市職員による不祥事に関連し、事業精査のため清掃費は前年対比マイナス2億4,669万円(-29%)と大幅に減額した予算となっています。また、生活保護費については、全国的にも受給者が増加しておりますが、本市でも医療扶助の伸び等により、前年比10.9%の増額予算としています。

■平成28年度一般会計予算(市民福祉常任委員会で審査されたもの)

項目	28年度予算額	27年度予算額	比較	伸び率	備考	
民生費	社会福祉費	29億5,380万円	28億2,338万円	1億3,042万円	4.6%	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	15億6,540万円	15億6,291万円	249万円	0.2%	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	7億443万円	6億3,524万円	6,917万円	10.9%	生活保護にかかる予算
	国民年金費	699万円	688万円	11万円	1.7%	国民年金事務に関連する予算
	災害救助費	85万円	157万円	△72万円	△45.9%	災害救援に関する予算
計	52億3,148万円	50億2,998万円	2億149万円	4.0%		
衛生費	保険衛生費	6億5,507万円	6億5,058万円	449万円	0.7%	病気予防や医師確保、歯科診療所、浄化槽整備など
	水道費	2億3,931万円	1億5,360万円	8,571万円	55.8%	簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算
	病院費	7億2,211万円	6億4,664万円	7,547万円	11.7%	病院事業に対する補助などの予算
	清掃費	6億418万円	8億5,087万円	△2億4,669万円	△29.0%	ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費
	計	22億2,066万円	23億169万円	△8,103万円	△3.5%	

■平成28年度予算 主な内容

温泉休養施設管理運営費	9,701万円	西木温泉クリオンの温水プールとボイラーの改修工事。
高齢者世帯等除雪支援事業費	1,266万円	自力で除雪することが困難な高齢者世帯等に除排雪や雪降り費用の一部を助成。
福祉医療費	2億2,355万円	乳幼児、小中学生、高齢者等への医療費助成。児童について8月からは中学校卒業までに拡大。
放課後児童対策事業費	4,551万円	放課後児童クラブ運営の経費。28年度から利用料は半額に。
誕生祝支給事業費	51万円	新生児の誕生を祝うため記念品を贈呈。
塵芥処理費	1億7,516万円	家庭ごみの収集運搬と市内3カ所の最終処分場の管理運営費など。
ごみ処理場管理運営費	2億9,132万円	ごみ処理施設の管理運営や維持補修の費用。

質問 大規模な改良工事が終了したこともあるが、その他本来かかる修繕費等については、現在メーカーも含め精査中である。二重三重にチェックし6月補正で対応したい。

答弁 指摘の通りであり、3千円相当の品から3万円の現金支給に変更する。予算については6月補正で対応する。

質問 誕生祝支給事業として、28年度から新生児に誕生祝い品3千円相当を贈るとしているが、子育て日本一を目指すのであれば非常にインパクトが薄いのではないかと？

答弁 今後クリオン本体についても改修の必要があり、その際にエレベーターの設置や更衣室健康器具ルーム等も検討する。

質問 クリオンのプール改修を行う予定としているが、プール以外に本体も経年劣化しており改修が必要ではないのか。また、プールは3階にあるので高齢者に配慮しエレベーターの設置は検討できないのか？

平成28年度予算 主な質疑
ここが知りたい
議論のポイント

平成28年度 仙北市病院事業会計当初予算68億411万円(新病院建設と医療機器に約25億3,800万円)

市立角館総合病院は新病院建設が進んでおりますが、平成28年度の予算の内、病院建設と医療機器購入に約25億3,800万円の予算が計上されました。委員からは病院の運営に対し多くの意見が出されました。(委員会討論から一部掲載)

- 市立角館総合病院は来春オープンを控えているが、院長始め各医療スタッフが一丸となり、患者への接遇改善、サービス向上を図るべき。2次医療機関としての役割をしっかりと果たすべく病診連携に努めて頂きたい。
- 市立田沢湖病院について、温泉療法医師の着任と看護師の充足を図りながら、今後は角館病院との連携をさらに強めて、一層の経営改善を求める。

産業建設常任委員会

平成28年度一般会計予算 農林水産業費16億9,100万円 前年度比50.5%アップ

平成28年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産業費、商工費、土木費などの主要予算が審査されました。内、労働費は前年対比-40.8%、農林水産業費は50.5%と予算の増減率が高くなっています。

■平成28年度一般会計予算(産業建設常任委員会で審査されたもの)

項目	28年度予算額	27年度予算額	比較	伸び率	備考
労働費	6,868万円	1億1,608万円	△4,741万円	△40.8%	緊急雇用対策事業など
農林水産業費	16億9,150万円	11億2,374万円	5億6,777万円	50.5%	農業・畜産・林業・漁業関係の予算
商工費	7億998万円	7億3,317万円	△2,319万円	△3.2%	商工業活性化や観光に関する予算
土木費	15億6,623万円	17億9,109万円	△2億2,486万円	△12.6%	道路や橋梁の整備・維持などに関する予算

■平成28年度予算 主な内容

農業夢プラン型戦略作物等 生産基盤拡大事業費

3,487万円

認定農業者の経営多角化への支援。

総合産業研究所費

556万円

農産物や特産品のPR、6次産業化や食育などの推進事業。

畜産環境総合整備事業費

9,023万円

国の畜産環境総合整備事業により堆肥処理施設を建設。

中小企業活性化支援事業費補助金

1,000万円

市内中小企業の起業、新分野進出、事業拡張に係る施設整備や機械購入に助成。

観光宣伝費

1,086万円

観光客数増加のため、関係機関と連携しての観光PRなど。

岩瀬北野線整備事業費

2億5,960万円

都市計画道路岩瀬北野線の小館(内川橋)～大風呂(横町橋)区間の整備。

住宅リフォーム促進事業費

1,500万円

住宅の増改築、リフォームに対する助成。

行く。

質問 総事業費は概算で20億程度を見込んでいます。25トンの大型車が通行できる設計として、調査を進めていく。

質問 内川橋掛け替えの概要は？

答弁 現在既に通訳コールセンター事業に着手しており、各宿泊施設からも好評である。また、外国人向け体験メニューも作成し今後実施する。さらに、旅行代理店等と連携したセーリングプロモーションも実施している。

質問 外国人観光客増加に向けた対策の状況は？

答弁 現在既に通訳コールセンター事業に着手しており、各宿泊施設からも好評である。また、外国人向け体験メニューも作成し今後実施する。さらに、旅行代理店等と連携したセーリングプロモーションも実施している。

質問 堆肥処理施設は、7,000トンの処理能力とし、仙北夢牧場を始め、市内の畜産農家の利用を想定している。畜産公害を防ぎ、若い経営者を増やすためにも施設の必要性は大きい。

質問 新たに整備される堆肥処理場建設の内容は？

答弁 堆肥処理施設は、7,000トンの処理能力とし、仙北夢牧場を始め、市内の畜産農家の利用を想定している。畜産公害を防ぎ、若い経営者を増やすためにも施設の必要性は大きい。

質問 総合産業研究所が取り組んでいる事業の効果は？

答弁 市内農家と連携し、スナックエンドウ、バレイショ、ニンニクなど稲作に代わる振興野菜の生産に注力している。今後さらに拡大する予定である。また、薬用作物の栽培についても国内需要の広がりから生産者も増加し定着が図られている。

質問 農林水産業費

平成28年度予算主な質疑
議論のポイント

司食品工業(株)誘致 企業側から進出断念の意向示される

市がこれまで準備を進めてきた食品加工工場の誘致について、企業側が進出を断念する意向を示した旨の報告を受け、委員会では、大変重い事態と受け止め、市長に対し説明を求めました。委員からは、こうした事態になったことに対する責任を取るべき、また、市民に対してきちりと説明するべき、などの意見が相次ぎました。ここでは市長からの発言の一部を掲載致します。

市長 昨年12月に司食品工業(株)の滝本社長から、現状では進出が困難である旨が伝えられた。私どもは進出が困難なのであればその理由も含めて文書で提出して欲しいと伝えた。しかし先方では、できない、とのことであったため、会議録をその代用とすることで協議し、完成したものを社長に対し送付している。先方からは、会議録の内容と自身の考えの食い違いがある旨指摘された。重要事案のため、職員を直接東京本社まで向かわせ内容を精査する作業をした。その際、先方からは一転して、理由書を書いて良いとの発言もあり、現在は、当初から仲介して頂いている秋田銀行、県とも相談しながら調整に入っている。これまで、司食品工業の進出を願ってきたが、先方から一方的に進出を断念されたことについては大変遺憾である。こちらは準備が全て完了しているにも関わらず、その後会社側が行動に移さなかったことは、先方の約束違反であると考えている。今後は、弁護士と相談の上、市にとって不利益とならないよう努めたい。約束違反であるため、先方企業には、応分の責任を果たしてもらいたい。先方が取るべき責任の果たし方については、現在、弁護士と協議中である。